平成22年度病害虫発生予察注意報第5号

平成22年7月21日
鳥取県病害虫防除所

注意報の概要

斑点米の原因となるカメムシ類の発生が水田周辺のイネ科雑草地などで多く、斑点米被害の多発が懸念される。今後、水稻の出穂とともにカメムシ類が水田へ侵入してくるので、穂揃い期から乳熟初期の防除を徹底する必要がある。

病害虫名：斑点米カメムシ類

- 1 対象作物 イネ
- 2 発生地域 県下全域
- 3 発生量 多い
- 4 注意報発令の根拠
 - (1) 水田周辺のイネ科雑草地では、アカスジカスミカメ、ホソミドリカスミカメ類、ムギカスミカメ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシなどが発生している。7月中旬現在、捕虫網5往復10回振りすくい取りの平均成幼虫数は229.9頭(平成12~21年)の注意報発令今年と同程度の発生となっている(表1)。特にアカスジカスミカメの発生が多く、高密度(5往復10回振りすくい取り虫数500頭以上)で発生している地点が散見される。
 - (2) 気象予報によると、向こう1か月は、平年と同様に晴れの日が多く、気温も平年並又は高いと予想されており、出穂期を迎える水田でのカメムシ類の加害活動及び増殖に好適な条件になると見込まれる。
- 5 防除上注意すべき事項
 - (1) 水田周辺の雑草地、畦畔などのイネ科雑草はカメムシ類の増殖源となるので、適正な管理を行う。
 - ア ひとめぼれ、コシヒカリ等、7月末~8月上旬に出穂期を迎えるほ場
7月以降、ほ場周辺の草刈りを行っていない場合は、直ちに草刈りを行う。また、既に草刈りを行ったほ場では、再生したイネ科雑草が出穂する前に再度草刈りを行うと、カメムシ類の密度がさらに低下する。
 - イ 日本晴、きぬむすめ等、8月中旬頃に出穂期を迎えるほ場
出穂20日前頃に草刈りを行い、その後、再生したイネ科雑草が穂をつける前に再度草刈りを行うとカメムシ類の密度がさらに低下する。
 - ウ 水稻の出穂期以降に穂を付けたイネ科雑草の草刈りを行うと、雑草の穂で増殖したカメムシ類が水田に追い込まれる。したがって、この時期に穂を付けたイネ科雑草をやむをえず刈る場合は、穂揃い期から乳熟期に草刈りを行い、その直後に、水田に追い込まれたカメムシ類を粉剤、水和剤などで防除する。
 - (2) 水田内で穂をつけたヒエ類はカメムシ類の発生を助長するので、見つけ次第抜き取る。
 - (3) 薬剤防除は適期に行う。
 - ア 粉剤、水和剤などを使用する場合
薬剤防除は穂揃い期から乳熟初期に行い、その後も発生が多い場合は7~10日間隔で1~2回の追加防除を行う。防除は地域一斉で行うと効果が高い。なお、出穂前散布の防除効果は期待できない。

イ 粒剤を使用する場合

病害虫防除指針を参考にして、各薬剤の散布適期に湛水散布を行う（湛水散布にあたっては、農薬のラベルに記載されている止水に関する注意事項などを確認するとともに、止水期間を1週間程度とし、また、農薬の流出を防止するために必要な措置を講じるように努める）。また、散布後も発生が多い場合は粉剤、乳剤などで追加防除を行う。

ウ 防除薬剤は表2を参考とする。また、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業者の安全の確保に努める。

表1 水田周辺のイネ科雑草地などにおける斑点米カメムシ類の発生状況（7月中旬）

地 区		カメムシ類の種類									合計
		アカシジ	ホミドリ	ホハリ	トゲシラ	シラホシ	ケヘリ	ムギ	クアジ	その他	
東部	本年	220.7	1.2	0.5	0.3	0.0	1.6	2.2	0.0	4.6	231.1
	平年	107.4	4.9	4.2	0.8	0.3	8.4	1.6	3.2	1.3	131.9
中部	本年	145.2	2.3	0.6	0.3	0.4	0.6	0.4	0.0	5.0	154.8
	平年	96.6	5.8	2.9	0.6	0.4	8.6	6.1	2.7	1.5	125.2
西部	本年	275.5	6.1	0.5	0.1	0.1	0.8	1.4	0.6	0.9	286.0
	平年	164.3	7.6	3.5	0.5	0.5	5.9	4.0	1.4	1.5	189.2
県全体	本年	219.7	3.4	0.6	0.2	0.2	1.0	1.3	0.2	3.3	229.9
	平年	125.1	6.3	3.6	0.7	0.5	7.6	3.7	2.7	1.5	151.6

注) 数字は捕虫網5往復10回振りすくい取り成幼虫数。66地点（東部：22地点、中部：19地点、西部：25地点）、3か所/地点の雑草地等を調査。

アカシジはアカシジカメムシ、ホミドリはホミドリカメムシ類、ホハリはホハリカメムシ、トゲシラはトゲシラホシカメムシ、シラホシはシラホシカメムシ、ケヘリはケヘリカメムシ、ムギはムギカメムシ、クアジはクアジホリガカメムシを表す。

表2 斑点米カメムシ類防除薬剤

剤型等	薬 剤 名
粉剤	トレボン粉剤DL、MR.ジョーカー粉剤DL スタークル粉剤DL、キラップ粉剤DL、ダントツH粉剤DL エルサンバッサ粉剤20DL など
粒剤	スタークル粒剤、キラップ粒剤、ダントツ粒剤 など
水和剤等	トレボン乳剤、スタークル液剤10、MR.ジョーカーEW、 ダントツフロアブル など
無人ヘリコプター防除剤	スタークルメイト液剤10、トレボンエア MR.ジョーカーEW、ダントツフロアブル など